



# 学校給食だより

平成29年度  
1月号

<江田島学校給食共同調理場>



あけましておめでとうございます。



新しい年が始まりました。今年も、調理場職員一丸となり、子供たちの心と身体  
の栄養を満たすおいしい給食を作っています。よろしくお願ひします。

## 学校給食の歴史をふり返ってみませんか。

1月24日から1月30日は「全国学校給食週間」です。全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割について理解と関心を高め、  
学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的としています。この機会に学校給食の歴史をふり返ってみませんか。

- 1796年 ドイツのミュンヘンで世界で初めての学校給食が実施されました。

- 明治22年（1889年）日本で初めての学校給食が始まる。

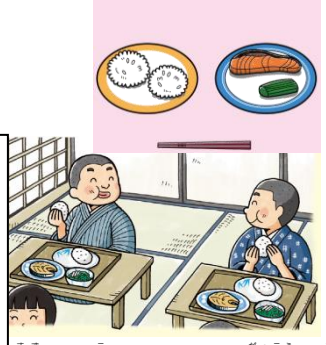


子守で学校に行けなかったり、弁当を持参できない子どもがいました。



お坊さんが中心となって托鉢してお金を集め、給食費にあてました。

山形県  
鶴岡市  
忠愛小学校

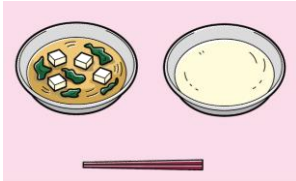


貧しい子どもたちも学校で給食が食べられるようになりました。

- 大正・昭和にかけて少しずつ全国各地で学校給食が開始。

- 昭和19年（1944年）戦争が激しくなり、学校給食が中止。

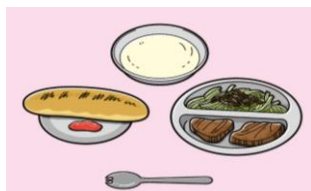
- 昭和21年（1946年）アメリカやララ（アジア救済公認団体）などにより、物資援助が送られ、学校給食が東京都、神奈川県、千葉県で12月24日に再開。



←献立例：脱脂粉乳、みそ汁

1月24日からの1週間を学校給食週間としました。（12月24日は学校が休みのため）

- 昭和25～30年頃（1950年～1955年）



アメリカから小麦の援助があり、コッペパン、おかず、ミルク（脱脂粉乳）の「完全給食」実施。

←献立例：コッペパン、脱脂粉乳、鯨肉の竜田揚げ、せんキャベツ、ジャム

- 昭和40年代以降（1965年～）「ソフトめん」や「ごはん」の登場。

- 現在では、栄養摂取はもちろん「食」を通して人間関係の育成をはじめ、和食の推進、郷土の味や伝承料理など地域に根ざした給食、マナーの体得などなど、教育としても位置づけられるようになりました。

全国学校給食週間の期間中、給食では、郷土の味や地域の食材を用いた料理などを実施して、給食への理解と関心を高められるよう努めています。



## 12月の給食メッセージを紹介します。

- ・だんごじるのだんごをかんだらしるができました。まえばでもかみきれました。江田島小1-2
- ・ぎょうざがカリカリしておいしかった。ちゃんぽんにあまみがあっておいしかった。めんが柔らかくておいしかったです。（麺は固めが好きか、柔らかいのが好きかの話になりました）柿浦小1・2年
- ・きなこパンがせかいでいち10000ばいおいしかったです。またつくってください。切串小1-1
- ・かき玉汁がとても美味だった。ししゃもも美味だった。The lunch is very very delicious!! Thank you very much!◎ 江田島中3-2
- ・わかめごはんがとてもおいしかったです。週1でわかめごはんにしてほしいくらいのおいしさで大好きです。おひたしが甘くておいしかったです。大柿中3-1

せんぜん  
戦前

せんご  
戦後

へいせい  
平成

げんざい  
～現在